

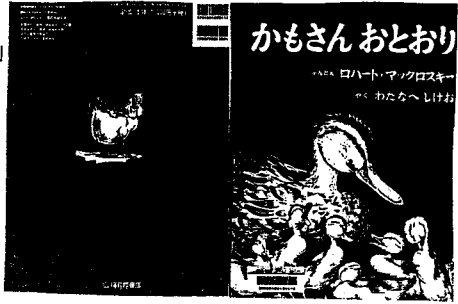
# 子どもたちといっしょに「かもさんおとおり」

(福音館書店) ふんぼんえ ロバート・マックロスキー  
 や く わたなべしげお

「かものマラードさんと マラードおくさんは、  
 すをつくるばしよを さがしていました。」

皆さんは、テレビのニュースや新聞で、かもの一家が、引越しをするのに、道路の車を一時とめて、皇居の堀へ歩いていく姿を見送っている光景をご覧になったことがあるのではないのでしょうか。こげ茶のコンテだけで描かれた絵も見事な、ほのぼのとした物語です。

マックロスキーの絵本は、このほか「すばらしいとき」「毎べのあま」「サリーの2けもつみ」などがあります。ご家族でおたのしみください。



## しろね図書館友の会文化講演会

講師 竹内紀吉氏  
 「私の文学的図書館運営」  
 日時・6月27日(木)PM1:30~3:30  
 場所・白根学習館 1ル-42  
 参加ご希望の方は、6月22日(金)までにしろね図書館(372-5510)へお申し込み下さい。詳しくはカウンターまで。(案内書あり)  
 (講師紹介)竹内紀吉氏は、初代の千葉県浦安市立図書館館長です。「図書館の街 浦安」は、その時の著作で館長奮闘記です。一度お読みください。

## 第8回読書会

日本の昔話(福音館書店)  
 1-はなすかひい  
 2-したきりすめ  
 3-ももたろ  
 4-330にからせん  
 5-ねずみのもろつき  
 の1冊以上を読んでください。本はカウンターで用意してありますのでお申しください。  
 日時・6月17日(日)  
 PM1:30~3:30  
 場所・白根学習館1ル-42

## 6月23日(土)のおはなし会

は前中央公民館春にふる。波留根の昔話(福音館書店)です。  
 おたのしみに!!  
 予告 開館1周年記念行事  
 ・子どもの本の講座  
 ・第1回 絵本の鬼力(7月8日)  
 ・第2回 物語の鬼初(7月15日)  
 ・第2回 図書館員になつてみる日(7月25日~27日)  
 ・7月7日(土)おはなし会(は市長にお礼の絵本の読み合わせ)

6月の行事とブックバス予定	1 (金)	白井小 14:30~15:15	16 (土)	おはなし会 3:00~	大通地C 14:00~14:30
	2 (土)	おはなし会 3:00~	17 (日)	第8回読書会	大通地C 14:00~14:30
	6 (水)	絵本のじかん 3:00~	20 (木)	絵本のじかん 3:00~	大宮小 14:00~14:30
	7 (木)		21 (金)		大宮小 14:00~14:30
	8 (金)		22 (土)		大宮小 14:00~14:30
	9 (土)	おはなし会 3:00~	23 (日)	おはなし会 3:00~	大宮小 14:00~14:30
	13 (水)	絵本のじかん 3:00~	27 (日)	友の会文化講演会 1:30~	大宮小 14:00~14:30
	14 (木)		28 (月)		大宮小 14:00~14:30
	15 (金)		29 (火)		大宮小 14:00~14:30
			30 (水)		大宮小 14:00~14:30
			1 (木)		大宮小 14:00~14:30
			2 (金)		大宮小 14:00~14:30
			3 (土)		大宮小 14:00~14:30
			4 (日)		大宮小 14:00~14:30

# しろね図書館だより

発行 白根市立図書館  
 No. 13  
 平成13年6月1日

開館して、まる一年! ご利用ありがとうございます。長かったようでもあり、短かったようでもある一年でした。これから、三年目に突入しますが、行事なども充実させて、より多くのかたに図書館をご利用いただけるよう努めたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

5月の  
 来館者----- 12,900人(見学40人含)  
 貸出冊数----- 12,096冊  
 予約件数----- 238件  
 ブックバス利用者----- 555人  
 " 貸出冊数----- 1,580冊

リクエスト情報(しぼくお借54冊)  
 1位・模倣犯(16人)  
 2位・4-7はどいへ消えた(13人)  
 3位・金持ぢいさん貧乏ぢいさん(9人)  
 4位・命(8人)  
 5位・石原家のくま(6人) 他に  
 お借51冊以上あり

この一年(平成12年6月1日~平成13年5月31日)

来館者 166,829人 (本館 162,800人) 7ヶ月バス 4,029人  
 貸出冊数 165,325冊 (本館 154,225冊) 7ヶ月バス 11,099冊  
 開館日数 279日 (本館 279日) 7ヶ月バス 125日 2605h  
 蔵書数 101,327冊(点) (児童書 30,590冊(点))  
 登録者数 9,128人  
 相互貸借 貸 105冊 借 167冊  
 リクエスト数 2697件  
 <図書ベストリーダー> 100位までのベストリーダー記録を出してあげました。その内一般書は、2冊のみでした。  
 (一般書) 五体不満足(13回転)  
 (児童書) 少年Aの子と生んぶ(57回転)  
 <リクエスト> (102回転) いやだいやだ(73回転)  
 11歳のねこ(94回転) 川と川と川と川(73回転)

行事一覧

- 絵本のじかん(毎週水曜日) 47回(絵本117冊) 参加・子ども 208人 おはなし 128人
- おはなし会(毎週土曜日) 45回(おはなし62話 絵本37冊) 参加・子ども 626人 おはなし 246人
- 読書会(毎月1回) 7回(利用者22名参加 職員14名)
- おはなしがこ(毎月第2、第4土曜日) 20回 参加・一般 115人(練習おはなし43話 職員43人) 絵本45冊
- こねこおはなし大会(8月) 8話 74人参加
- クリスマスおはなし大会(12月) 11話 57人参加
- おはなし子どもも楽しい手づくりの絵本の会(11月) おはなし8人 子ども17人参加
- 図書館員になつてみる日(7月) 4人参加
- おはなし読書会(11月~12月の3日) おはなし11人参加
- 図書館員になつてみる日(7月) 4人参加
- おはなし読書会(11月~12月の3日) おはなし11人参加
- 学校の出前おはなし3回 子ども180人おはなし4人
- ポイント73回 子ども322人おはなし60人

西安とシルクロード 2001～2002年

- 新疆在日の思想
- 情報公開法入門
- 日本の官僚
- 日本の行政
- 相手を訴える法律知識 改訂新版
- 弁護士の上手な探し方・頼み方 改訂版
- こんな人こそ外資へ行け
- 就業規則はこうつくる 改訂新版
- 相続と贈与がわかる本
- ここ掘れ、ワンワン
- モタさんの伏老物語
- 栃木リンチ殺人事件
- なぜ授業は遅れ、学力は低下するのか
- 葬儀・法要と諸手続きがわかる事典
- 贈答のルールとお金の事典

3

- 口頭伝承論 下
- 時間の本質をさぐる
- みなしごゴリラの学校
- 医者が患者をだますとき
- しなやかな血管をつくる本 イラスト版
- 自律神経を鍛えればあなたも必ずやせられる
- もっと知りたい精神科のカウンセリング
- 60歳から慢性病のトラブルを乗り切る法
- 主婦うつ

- 腰の痛みはこれでとる イラスト版
- 手指のこわばり、腫れ、痛み慢性関節リウマ
- 健診でコレステロール・中性脂肪が高めです
- 慢性頭痛とつきあう法 イラスト版
- 紫外線から子どもを守る本
- 出すときこまる出なくてこまる
- ご長寿おかず112
- 環境と文明の世界史
- 環境倫理学のすすめ
- エコロジー幻想

- 通信のしくみ・システムがわかる事典
- ホームクチュールわたしのスタンダード
- 初めての日本の洋食
- ふつつか台所自慢
- フクシア
- 赤ちゃん犬のしつけと育て方
- 山と森の人々
- 近江商人
- 画壇統一に賭ける夢

- かわいいうカット集 おしゃれイラスト編
- かわいいうカット集 人物&グッズ編
- かわいいうカット集 動物&子ども編
- 図説 書的美と技法 上
- 犬の記憶
- アートクレイシルバーで作るアクセサリ
- 協奏曲の名曲・名盤
- 交響曲の名曲・名盤
- 能・文楽・歌舞伎

- 心の小鳥
- フランス革命
- カプトムシ&クワガタ探偵団
- オーブンねんどのキュートアクセサリ
- 紳士とオバケ氏
- 過ぎる十七の春
- 二度生きたランベルト

- クワガタムシ・カプトムシ・スズムシなどの
- カメ・カエルなど両生類は虫類の飼ひ方
- 恐竜のおりがみ 2
- なんでも屋はじめます
- オバケちゃんとはしるおばあさん

2

- ディジーとうまれたたまご
- チビねずくんのあつーいいちにち
- 笛ふきイワヌシカ
- 海の生き物の飼ひ方
- そだててあそぼう 32
- ウサギ・ハムスターなどかわいいう生きもの

32

地球の歩き方編集室|編

- 金石範|著
- 松井 茂記||著
- 村川 一郎||著
- 村松 岐夫||著

自由国民社|編

- 尾方 徹||著
- 小嶋 廣喜||著

自由国民社|編

- 尾方 徹||著
- 小嶋 廣喜||著

CD Journal

- 21世紀マナー研究会|著
- 川田 順造||著
- 松田 卓也||著
- 岡安 直比||著
- ロバート・メンデルソン||著

池田 健||著

- 板垣 晃之||著
- 大野 裕||著

NHK出版|編

- 奈良 昌治||著

子育てと環境を考える会|編

- 山口 時子||著
- 上村 泰子||著
- 石 弘之||著

加藤 尚武||著

- 武田 邦彦||著
- 杉浦 哲也||著
- 芥木 真知子||著

伊藤 玲子||著

- 平野 恵理子||著
- 加茂 元照||著
- 主婦と生活社|編
- 四手井 綱英||著
- 末永 国紀||著
- 今谷 明||著

成美堂出版編集部|編

- 成美堂出版編集部|編
- 成美堂出版編集部|編
- 成美堂出版編集部|編
- 小倉 不折||著
- 森山 大道||著
- 平岡 雅司||著
- 宇野 功芳||著
- 宇野 功芳||著
- ドナルド キーン||著

ミハル スズニツ||著

- 遅塚 忠躬||著
- カプトムシ&クワガタ探偵団|編
- 川名 晶子||著
- たかどの ほうこ||著
- 小野 由美||著
- ジャンニ ロダーリ||著

川畑 文昭||著

- 正道 かほる||著
- 松谷 みよ子||著

ジェーン シモンズ||著

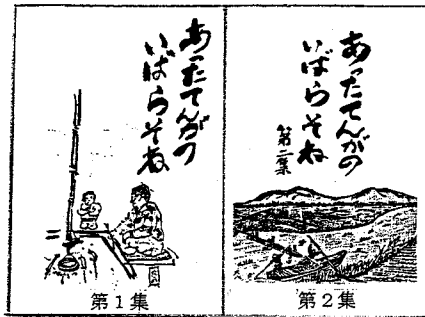
- ダイアナ ヘンドリー||著
- ミハイル プラートフ||著

塚田 元尚|編

- 村谷 実樹||著

新しい住まいの設計

- AERA
- 愛犬の友
- AERA
- 一枚の繪
- With
- キネマ旬報
- クワガタ
- 暮らしの手帖
- 月刊 審ワールド
- こどもとしよかん
- Komachi
- GOLF DIGEST
- サッカーマガジン
- サンデー毎日
- CD Journal
- 週刊エコノミスト
- 週刊東洋経済
- 週刊朝日
- 小説新潮
- 週刊新潮
- 週刊文春
- 週刊ベースボール
- 週刊エコノミスト
- 週刊朝日
- 週刊東洋経済
- J J
- J R時刻表
- ジュリスト
- skier
- 装苑
- 卓球王国
- 短歌
- つり人
- Tennis Magazine
- 鉄道ジャーナル
- DISNEY FAN
- 図書館雑誌
- NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版
- ニューハウス
- Newsweek 日本版
- 新潟県教育月報
- Newton
- 俳句
- 婦人公論
- Petit seven
- プレジデント
- Yomiuri Weekly
- ランナーズ
- 良寛
- 歴史読本
- ROADSHOW



先日、前中央公民館長の関根喜八郎氏から「あつてんがのいばらそね 第2集」を寄贈いただいた。平成5年に発刊された第1集に続くもので「昔し語り」や「昔し話」など20話があり、カラーの挿絵と共に集録されている。

子どもの頃に聞かされた話などを改めて読んでみると、懐かしさとともに、当時とは違った感動を覚えた。また、このたびの発刊に当たり、尽力された関係各位の郷土に対する誇りと愛情に触れることができた。

昨年10月9日に、越後平野の治水史を基にしたミュージカル「リバー・ピープル ～川とたたかう人々～」が公演された。地域の歴史・文化をテーマにしたことや、住民参加ということもあり、多くの人に勇気と感動を与え、大きな反響を呼んだ。

地方の時代と言われて久しい今日、住民一人ひとりが自らの地域の歴史や文化を再認識し、それを共有することは大切なことである。その上に立脚した地域づくりが、住民自らの手で活

発に行われるなら、間違いない21世紀は真の地方の時代を迎えることができると思う。

話少し横道にそれたが、「昔し語り」や「昔し話」は、茨城県地区に限らず、各地区にも語り継がれてきたものがあると思う。そこには、過去から未来に向けた何らかのメッセージが込められている気がする。現代に生きる我々も、しっかりとこれらを受け継ぎ、21世紀に伝えていく必要がある。

図書館には第1集も所蔵しており、第2集と併せてお読みいただければと思う。

(副館長 関根 律)

読書会に参加して  
(第7回読書会 五月二十日)  
「馬場あき子 短歌その形と心」  
馬場あき子 著 星野あつ子

初めて参加しました。この所とても豪華な日々で、気がおくれる私。このままではいけないと、以前に誘われていた「読書会の参加」を思い立ちました。何か道が開けるかもしれない。

「読書会の～」  
「あ、どうぞ、どうぞ」と、館長さんが快く今月のこの一冊を渡してくれました。館長さんや職員の方々が、とてもやさしくて、ていねいでホッとします。

短歌は、ぜんぜん解らないと思っていましたが、遠く山上徳良から、現代の寺山修司まで百首余りが、丁寧な解説で分類されていました。作者は、百人一首から短歌の道に入ったのだそうです。

「ちはやぶる神世もきかず立田川、さつぱり解らない」と思っていた私に昔の記憶が甦って来たのです。さて当日、なにを話せばよいのかと思つていました。館長さんの暖かいまなざしと、やさしさ溢れる進行に誘われて、ついつい口も軽くなってしまったのです。恋愛、美しい情景、能・狂言にみられる情念・怨念等に、話した花が咲きました。僅か三十一文字に思ひの文を託する技は、素晴らしい。すつかり体が温かくなつてくるのを感じました。肩の力がすつとぬけたように気持ちも楽になつて、とても楽しい時間でした。さつそく一首

人生の半ばを過ぎて吾は今、夢見の頃の思いは何処。出来た！でもどこかで聞いたような気がするけど、私の短歌入門も少なからず、始まりそうです。

